

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2022年度上半期(2022年4月1日～2022年9月30日)の報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当社グループは、中期経営計画「Next Evolution 2024」において「第二次DMC(Direct Marketing Conglomerate) 複合通販経営の推進」および「Responsibility経営の取組み強化」を二大重点方針に掲げ、経済的価値と社会的価値の両立を通じ、持続的な成長を目指しております。当期は、基幹事業である通販事業一本足経営からの脱却を進めるべく、成長ドライバーと位置付けているソリューション事業において、アパレル特化型物流センター「SLC春日部」、販促支援型コンタクトセンター「八王子センター」の稼働を開始するなど、成長に向けた事業基盤の構築を推進しております。また、グループ全体で、カーボンニュートラルに向けた取組みやタスク・ダイバーシティの推進にも努めております。

この結果、当上半期の経営成績につきましては、ソリューション事業における物流代行をはじめとした各サービスの伸長があったものの、グループ全体では、巣ごもり消費の反動減や購買行動の変化に伴う個人消費の落ち込み、原材料価格の上昇、急激な円安などによる影響を受け、前年同期と比べ、減収減益となりました。

2022年度の下半期におきましては、原材料価格の高騰、円安、物価上昇に伴う生活防衛意識の高まりなどにより、当社グループを取り巻く経営環境はより一層厳しくなると見込んでおりますが、引き続き、中期経営計画「Next Evolution 2024」の着実な遂行を通じて、各事業セグメントのビジネスモデルを進化させることにより、売上の成長と収益性向上の両立を目指してまいります。

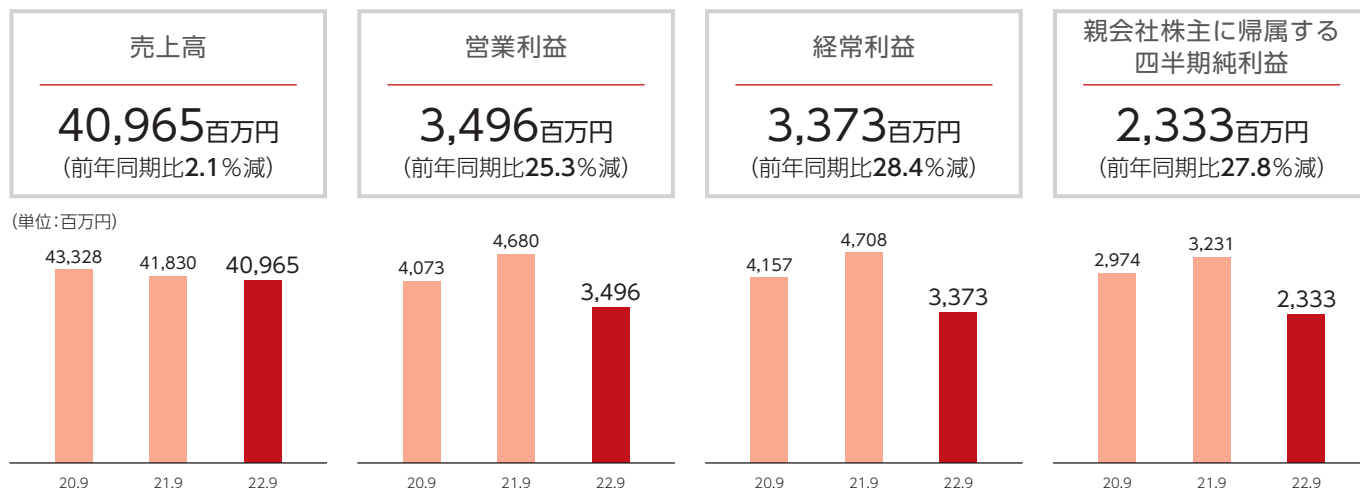
株主の皆さまにおかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

鶴見知久



決算ハイライト 2022年度 上半期(2022年4月1日～2022年9月30日)



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しております。
2021年3月期の実績は、収益認識基準適用前の数値にて表示しております。

セグメント別概況

※当期より報告セグメントの区分の一部を変更しております。前期実績につきましては、数値を組み替えております。

通販事業

「毎日が楽しくなるような商品」を主に生協宅配事業の組合員向けに販売する「通販事業」

- 巣ごもり消費の反動減の影響に加えて、行動制限の緩和に伴う購買行動の変化や上海ロックダウンの影響を受け一時的に売上が減少したものの、その後は前期並みに推移
- 原材料価格が高騰するなか、商品調達方法の見直しによる原価率の低減や効率的なカタログ配布など、事業効率の最大化を推進
- 新たなSDGs商品やサステナビリティサービスの展開にも取り組む

売上高

21,263 百万円
(前年同期比6.6%減)

セグメント利益

3,341 百万円
(前年同期比21.4%減)

▶ 季刊誌カタログ「さん燦」10周年

燦々と元気に輝けるアクティブシニアの生き方を応援する情報物販誌「さん燦」の受注が好調です。

10周年目を迎える2022年秋号では、素材やパターンにこだわった7色展開の「キレイラクルオーバー」、さっと着るだけで旬のスタイルになれる「異素材ミックスシャツ」などの10周年記念感謝商品の展開のほか、5,000円以上のお買物をされた方の中から抽選でグルメカードが当たるキャンペーンを実施するなど、組合員の皆さまに喜んでいただけるような企画を実施しています。



▲ 2022年秋号



▲ キレイラクルオーバー



▲ 異素材ミックスシャツ

ソリューション事業

EC・通販事業者の事業を発展させるためのサービスを提供する「ソリューション事業」

- 物流代行サービスにおける新規クライアントの稼働開始や、S L Cみらいに次ぐ新たな物流センターとなる「S L C春日部」の開設など、物流代行サービスの業容拡大を進め、全国通販3 P L戦略の推進に取り組み、増収増益
- 販促支援型コンタクトセンター「八王子センター」の開設、ECショップ運営代行サービスの提供開始など、サービスメニューの拡充を推進
- 決済代行サービスやマーケティングサポート事業も堅調に推移

売上高

10,094 百万円
(前年同期比15.0%増)

セグメント利益

229 百万円
(前年同期比38.2%増)

▶ S L C春日部、八王子センター稼働開始 スクロール360

ソリューションサービスの新たな拠点として、アパレル特化型物流センター「スクロールロジスティクスセンター(S L C)春日部」、販促支援型コンタクトセンター「八王子センター」の稼働を開始しました。



▲ S L C春日部



▲ 八王子センター

▶ ECショップ運営代行サービスの提供を開始 スクロール360

事業者のEC進出・強化に向けた新たなご提案として、ECショップ運営代行サービス「EACT(イーシーアクト)」の提供を開始しました。

「EACT」は、グループ企業でもあり、EC運営ノウハウを有するAXESが業務を担当し、ECショップの運営を戦略立案から予実績管理・広告管理まで全面的にバックアップします。



詳細は[こちら](#)

eコマース事業

「毎日が楽しくなるような商品」をインターネットで販売する「eコマース事業」

- ▶ オリジナル商品の開発や最適な商品調達ルートの開拓を推進
- ▶ アウトドア・キャンプ商材において業種・業態を越えた競争が激化していることや、ブランドバッグ等の需要が回復していないことの影響を大きく受け減収
- ▶ アウトドア・キャンプ商材の販売状況を鑑み、不稼働在庫の評価損を計上

売上高

10,170 百万円
(前年同期比4.8%減)

セグメント損失

235 百万円
(前年同期はセグメント利益181百万円)

▶ コンパクトな焚き火台「六花」を発売 ナチュラム

オリジナルブランド「ハイランダー」の新商品として、焚き火台「六花(りっか)」を発売しました。最大の特徴は、折りたたむとバックパックにも収まるコンパクトな設計。組み立てた姿もおしゃれで美しいと好評をいただいています。



詳細は[こちら](#)

▶ フェムケア情報発信サイト「F.path」を開設 スクロールR&D

通販サイト「きれいみつけた」内に、フェムケアに関する情報を発信するコラムサイト「F.path(エフパス)」を開設しました。

「F.path」では、「さまざまな現代女性のお悩みに対して、一緒に勉強しながら、快適な毎日を提案していく」をテーマに、フェムケアビギナーにおすすめしたい商品や、セルフケアに関する情報を発信していきます。



「F.path」サイトは[こちら](#)

HBT事業

「美と健康」、「コト消費」マーケットに対し、自社オリジナルの化粧品・健康食品や旅行企画を販売する「HBT事業」

売上高

660 百万円
(前年同期比38.7%減)

セグメント損失

95 百万円
(前年同期はセグメント利益3百万円)

- ▶ 化粧品・健康食品ビジネスにおいて、新規顧客獲得に向けた新たな商材の営業活動を強化
- ▶ 旅行ビジネスにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一巡したことにより、徐々に回復の兆しをみせているものの、引き続き不透明な状況
- ▶ 2022年3月に化粧品子会社2社の保有株式を売却したことに伴い、売上高が減少

▶ 「CRAFT ORGANIC」デビュー キナリ

6月5日、新たなサステナブル&オーガニックコスメブランド「CRAFT ORGANIC(クラフトオーガニック)」の発売を開始しました。「心地いい、が美しい」をコンセプトに、ずっと使い続けたいと思える心地よさを追求。100%天然由来成分を使用し、身体にも地球環境にも優しいサステナブルな商品を展開していきます。



詳細は[こちら](#)

グループ管轄事業

物流を中心にスクロールグループのインフラを支える「グループ管轄事業」

売上高

1,688 百万円
(前年同期比1.9%増)

セグメント利益

100 百万円
(前年同期比16.3%減)



ESGへの取組み

スクロールグループは、「社会から信頼される企業であること。」という社是のもと、人々の豊かな暮らしづくりをサポートしていきます。

E 環境配慮、脱炭素社会への取組み (Environment/環境) 「静岡Greenでんき」の導入を開始

CO₂排出量の削減および再生可能エネルギーのさらなる普及拡大、地産地消による地域経済の活性化に貢献するため、2022年4月、当社浜松本社ビルで使用する全ての購入電力に、中部電力ミライズ株式会社が提供する、静岡県産CO₂フリー電気「静岡Greenでんき」の導入を開始しました。



S 持続可能な地域社会づくりへの貢献 (Social/社会) 社員による「はままつフラワーパーク」園内ボランティア活動を実施



▲ はままつフラワーパーク

当社は、「はままつフラワーパーク」の運営事業を行う公益財団法人浜松市花みどり振興財団と「相互協力及び連携に関する協定」を締結しております。

2022年4月から6月までの土日祝日に「はままつフラワーパーク」園内にて当社グループ社員がボランティア活動を実施し、お花周りの雑草取りや、枯れた花摘み、役目を終えたお花の抜き取り作業などを行いました。



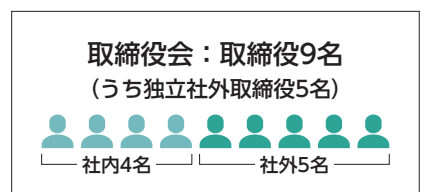
▲ 社員によるボランティア活動の様子



G コーポレート・ガバナンスの拡充 (Governance/ガバナンス) コーポレート・ガバナンスシステムの変更

① 取締役の過半数を独立社外取締役とした機関構成へ

業務執行に対する取締役会のさらなる監督機能の強化を図るため、独立社外取締役比率3分の1以上の体制から、取締役の過半数を独立社外取締役とした機関構成へと変更しました。



② 新たに女性の独立社外取締役を選任

多様な取締役による活発な議論を通じて、客観性・実効性の高いガバナンスを実現させるなど、タスク・ダイバーシティ経営を推進していきます。

株主還元方針

利益配分について／当期の配当

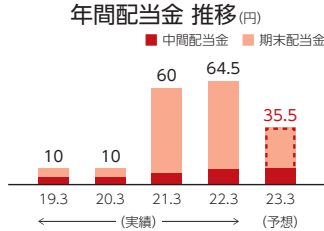
基本方針

- 株主の皆さまへの利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。
- 年間配当金20円を下限とし、連結配当性向40%を基本として実施いたします。

当期(2023年3月期)の配当(1株当たり)

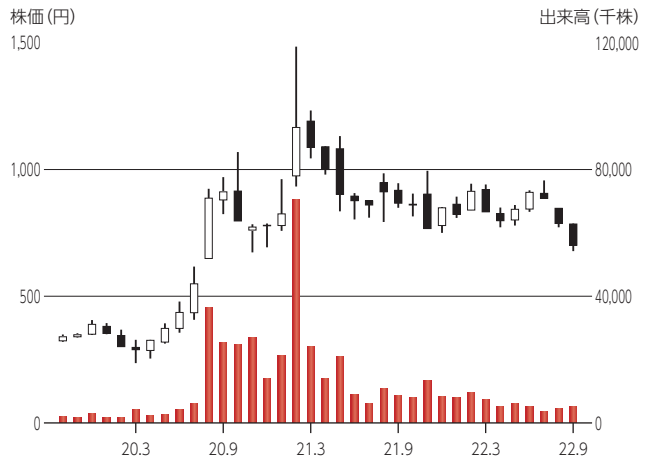
中間配当金 10.0円
期末配当金 25.5円(予想)
年間配当金 35.5円(予想)

詳細は2022年10月28日公表
「業績予想及び配当予想の修正
に関するお知らせ」
をご参照ください。



株価・出来高の推移

2019年10月～2022年9月



株主優待制度変更のお知らせ

このたび、株主優待制度の利便性の向上、優待カタログ・優待券用紙使用量の削減、発送コストの削減等を総合的に勘案し、2023年3月31日基準日分より、株主優待制度の一部を変更することを決定いたしました。

年2回(中間、期末)から 年1回(期末のみ)にします

株主の皆さまへ進呈する
年間ポイント数は変わりません

Q. なぜ年1回にするの？

現状を総合的に勘案し、以下の目的を達成するために変更いたします。

- 環境問題への取組みのため、用紙の使用量を削減します。
- 1回当たりの付与ポイントを増やすことで、株主の皆さまにとって利用しやすい優待にします。
- 郵送料など発送に要するコストを削減します。

長期保有株主優待の ポイントは 引き続き進呈します

Q. 進呈するポイントは？

ご保有の株式数および保有期間に応じたポイント数となります。

長期保有株主優待は、毎年3月31日の当社株主名簿を基準として、年1回の実施となります。なお、株主の皆さまに不利益が生じないように、保有期間の算定方法について調整いたします。

株主優待券の 発行を 廃止します

Q. 優待券がなくなるとどうなるの？

以下の2種類の方法でご利用できます。

- 株主優待サイト(<https://yutai.scroll.jp/>)からのご注文
- 申込書にご利用ポイント数を記入し、専用返信用封筒でご注文

※株主優待の詳細につきましては、当社コーポレートサイト「[株式・株主情報](#)」-「[株主優待](#)」をご覧ください。

「静岡県グリーンバンクへの寄付」に関するお知らせ

当社は、社会的責任に応えるべく、中期経営計画において「Responsibility経営の取組み強化」を重点方針に掲げており、2022年6月から、株主優待制度におきまして「静岡県グリーンバンクへの寄付」を選択できるよう、株主優待券のご利用対象範囲を拡充しております。

このたび、「静岡県グリーンバンクへの寄付」をご選択された株主の皆さまからお預かりした寄付金の振込を、以下のとおり実施いたしました。

お申込件数	1,232件
寄付金額(総額)	675,500円
寄付金振込実施日	2022年9月26日

ご賛同いただきました株主の皆さまに、心より御礼申し上げます。

当社は、今後も地域社会への貢献、またそれにとどまらない社会的価値の高い活動により、持続可能な社会の実現につながるよう、各種取組みを推進してまいります。



「公益社団法人静岡県グリーンバンク」について
「街に緑を 森に豊かさ」をスローガンに、静岡県の各地域に緑を増やすため花の種、苗木などの提供、緑化ボランティア団体や次世代の子どもたちの育成支援、森林整備の啓発などを通じ、SDGsの目標達成に貢献する「緑の応援団」です。

株式・会社の概況

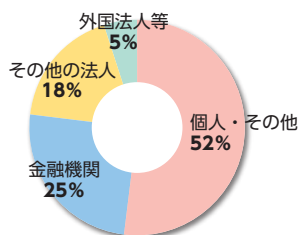
株式の状況

2022年9月30日現在

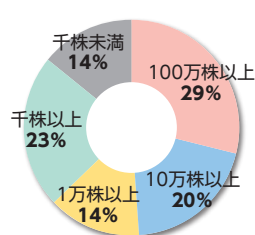
株式の状況

1. 発行可能株式の総数	110,000,000株
2. 発行済株式の総数	34,981,050株
3. 1単元の株式数	100株
4. 株主数	40,936名
5. 単元株主数	37,992名
6. 単元株式数	34,937,800株

〈所有者別株式分布状況〉



〈所有株数別株式分布状況〉



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,862	11.04
丸紅株式会社	2,841	8.13
スクロール取引先持株会	2,112	6.04
株式会社静岡銀行	1,261	3.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	933	2.67
スクロール従業員持株会	777	2.22
日本生命保険相互会社	543	1.55
モリリン株式会社	434	1.24
大日本印刷株式会社	433	1.24
株式会社りそな銀行	400	1.14

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

会社の概況

2022年9月30日現在

商号	株式会社スクロール (Scroll Corporation)
設立	1943年10月1日
資本金	6,064,019,595円
本社	静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号 電話 053-464-1111(代表)
東京本店	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー25階・26階 電話 03-5962-0500(代表)
支店・事務所	大阪支店・福岡支店・札幌支店・ジャカルタ事務所・ダッカ事務所
物流センター	スクロールロジスティクスセンター浜松西 スクロールロジスティクスセンター磐田 スクロールロジスティクスセンターみらい
従業員数	334名
グループ従業員総数	900名
主な事業内容	アパレル、雑貨、化粧品・健康食品、旅行等の 通信販売事業およびEC・通販事業者へのソ リューション事業
主要な子会社	詩克楽商貿(上海)有限公司 株スクロール360 株キャッチボール 株もしも 成都音和娜網絡服務有限公司 株AXES 株スクロールR&D 株ナチュラルム 株ミヨシ 北海道アンソロポロジー(株) 株キナリ 株トラベックスツアーズ 株スクロールロジスティクス SCROLL VIETNAM COMPANY LIMITED

役員一覧

2022年10月31日現在

取締役

代表取締役社長	鶴見知久
取締役副社長	佐藤浩明
取締役	山崎正之
取締役	杉本泰宣
取締役(社外) ※監査等委員	村瀬 司
取締役(社外) ※監査等委員	宮部貴之
取締役(社外) ※監査等委員	宮城政憲
取締役(社外) ※監査等委員	一杉逸朗
取締役(社外) ※監査等委員	小野亜希子

グループオフィサー

グループオフィサー CEO兼COO	鶴見知久
グループオフィサー CSO	佐藤浩明
グループオフィサー CMO	山崎正之
グループオフィサー CAO	杉本泰宣
グループオフィサー	勝田圭三
グループオフィサー	西田耕三
グループオフィサー	音羽裕之
グループオフィサー	大下公宝
グループオフィサー	實藤裕史
グループオフィサー CFO	山下政彦

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	事業年度終了から3ヵ月以内に開催いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.scroll.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。